

# 時間外受診は医療費に追加の支払いが

「平日や日中は都合が悪いから」などの理由で、緊急性がないのに、早朝・夜間・休日に受診すると、かかった医療費とは別に追加の料金を支払うこととなります。時間外受診は、やむを得ないとき以外は控えましょう。

## こんなにプラスされるんです！

|   |  |                       |
|---|--|-----------------------|
| 平日は6～8時、18～22時<br>土曜は6～8時、12～22時                          | 〈病院・診療所〉<br>通常の医療費<br>+<br><b>850円</b> | 〈調剤薬局〉<br>調剤技術料と同額を加算 |
| 時間外の場合  |  |                       |
| 22～翌6時  | 通常の医療費<br>+<br><b>4,800円</b>           | 調剤技術料の2倍を加算           |
| 深夜の場合   |  |                       |
| 日曜・祝日、12/29～1/3   | 通常の医療費<br>+<br><b>2,500円</b>           | 調剤技術料の1.4倍を加算         |
| 休日の場合   |  |                       |
| ●診療・開局時間内でも加算されます<br>〈診療所のみ〉                              |  |                       |
| 夜間・早朝等の場合   | 通常の医療費<br>+<br><b>500円</b>             |                       |
| 平日は6～8時、18～22時<br>土曜は6～8時、12～22時<br>日曜・祝日は6～22時           |  |                       |
| 夜間・休日等の場合   |  | <b>+ 400円</b>         |
| 夜間/平日は6～8時、19～22時<br>土曜は6～8時、13～22時<br>休日/日曜・祝日、12/29～1/3 |  |                       |

\*上記のうち、いずれかが加算されます。  
\*上記は初診時の金額です。  
\*窓口で実際に払う患者の自己負担分は、この金額の1～3割です。  
\*6歳未満はさらに高額な加算が付きまます。  
\*医療機関や診療体制により加算等が異なる場合もあります。

## 「今、行くべき？」迷ったときは…

小児救急電話相談〈厚生労働省〉… **#8000**

休日・夜間の急な子どもの病気にどう対処したらよいのか、病院の診療を受けたほうがいいのかなど判断に迷ったときに、小児科医師・看護師への電話による相談ができます。

※全国同一の短縮電話番号です。なお、お住まいの都道府県によって利用時間が異なります。詳しくは厚生労働省のホームページでご確認ください。



# はしご受診はセカンドオピニオンではありません

「あの医者さんとはなんとなくウマが合わない！」  
「自分に合ったお薬を処方してくれない…」

そんな理由で、医療機関を変えていませんか？

それは「はしご受診」です。同じ病気で複数の医療機関を渡り歩くと、毎回初診料を払うことになりお金もかかるうえに、体にも負担がかかります。

家計のためにも、健康のためにも、はしご受診はやめましょう。



## はしご受診のデメリット

### その① こんなにお金がかかる！

初めての医療機関を受診すると、初診料2,820円がかかります。一方、2回目以降は再診料といって720円ですみます。

|  |
|--|
| たとえば、  |
| <b>Bad</b> 月4回違う病院にかかる時…<br>初診料2,820円×4病院 = <b>11,280円</b>                       |
| <b>Good</b> 月4回同じ病院なら…<br>初診料2,820円<br>再診料720円×3回 = 2,160円<br>あわせて <b>4,980円</b> |

その差なんと  
**6,300円！**



\*窓口で実際に払う患者の自己負担分は、この金額の1～3割です。  
\*この他に、検査料などがかかります。  
\*前の受診から1ヶ月以上、間があった場合など、同じ病院でも初診料がかかることがあります。

### その② こんなに体に悪い！

- Bad** いろいろな病院から薬をもらうと、同じ薬をもらったり、薬のみ合わせなどが心配。
- Bad** 同じ検査を何度もすれば、体に負担も。
- Bad** 治療の計画が一からやり直しとなり、回復が遅れる可能性も。

## セカンドオピニオンとはココが違う！

「がんと診断された」「手術するかどうかの選択を迫られている」など、重い病気の治療について、別の意見や判断材料を求めることを「セカンドオピニオン」といいますが、これは「はしご受診」とは違います。

セカンドオピニオンとは、主治医の意見を踏まえ、必要があれば検査結果などの情報を提供してもらい、他の医師にも意見を求めることです。「セカンドオピニオン外来」を設けている病院もあります。

必要な場合はこうした外来を利用するのもよいでしょう。

\*セカンドオピニオンは、基本的に全額自費負担になります。